

平成20年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	映画活弁士の活弁手法を活かした視覚・聴覚障害者のための副音声の開発ならびに制作事業（バリアフリー映画制作事業）
事業目的	従来の画面説明に特化した字幕や副音声ナレーションではなく、晴眼者も一緒に鑑賞して楽しめる字幕や、活弁による副音声を開発する。従来は封切りから5年以上経った作品の上述の画面説明副音声映画は制作「されてきたが、タイムリーな映画を、社会の一員として楽しむことで、余暇のバリアフリーの確立を目指す。
事業概要	研究会（5回開催）を通して、5作品を選定した。それぞれに、監督、プロデューサーにも制作にかかわってもらい、障害当事者とも意見交換をする場を設けた。視覚障害者、高齢者、知的障害者を視野に入れた副音声の開発を目指し、映画監督ならびに制作者にも協力をもらいつつ、障害当事者の意見を反映し制作した。5回の研究会をとおして、画面を解説する従来の副音声ナレーションではなく、登場人物の感情の動きや風景の意味などを、活弁により感情の通った、生き生きとした副音声として完成した。聴覚障害者、高齢者に向けた字幕制作においても、上述のメンバーの意見を元に、画面の中にある音声を単に補うだけでなく、字幕文としての物語性を重視した。
事業実施結果及び効果	今回制作した5作品のうち、特筆すべきは、アニメ作品（スタジオジブリ作品）が1本、公開前の作品が1本あったことである。「ぐるりのこと。」「花はどこへいった」「絵の中のぼくの村」「猫の恩返し」「THE CODE／暗号」これらの作品を3会場で上映できたと同時に、研究会メンバーによる公開シンポジウムにて、その成果、課題について発表、今後、より多くの方に体験していただき、バリアフリー映画の輪が広がっていくことが期待される。
事業主体	〒891-1201 鹿児島県鹿児島市岡之原町1005 特定非営利活動法人 全国地域生活支援ネットワーク TEL：099-822-8705 E-MAIL：tsuru-motohiko@nifty.com